

# はんだ山の風

2020 AUTUMN

第41号



## 地元企業とポリエステル製の手術用ガウンを共同製作しました

市内の縫製会社である株式会社ミズタニと、ポリエステル製の手術用ガウンを共同製作し、7月6日(月)に松山病院長らが浜松市長に披露しました。この共同製作は、浜松市の仲介により実現しました。

## Contents

- P.2 浜松医大の感染対策の取り組み 感染対策室 副室長 看護師 鈴木 利史
- P.5 医師の時間外労働規制についてー「評価機能」という言葉を知っていますか? 医療福祉支援センター長 小林 利彦
- P.8 肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップのために  
～肝疾患連携拠点病院としてできること～ 肝臓内科診療科長 肝疾患連携相談室長 川田 一仁
- P.10 腫瘍センターだより「治療とお仕事の両立について」  
医療福祉支援センター がん相談支援センター 社会福祉士 鈴木 友彰
- P.12 医療機器管理部のご紹介 ～臨床工学技士は、医療機器の専門家です～  
医療機器管理部 主任臨床工学技士 水口 智明
- P.14 お知らせ
- P.14 駐車場整理料の変更について(お知らせ)



発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会  
〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号  
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課)  
Hpアドレス/ <https://www.hama-med.ac.jp/>

過去の  
はんだ山の風は  
こちらから



# 浜松医大の感染対策の取り組み

感染対策室 副室長 看護師 鈴木 利史



## 新たな感染症の脅威

2019年12月、中国に端を発した『新型コロナウイルス感染症』は全世界に拡散し、世界的には今なお収束の気配はありません。日本国内では、5月下旬に緊急事態宣言が解除された後、第二波に襲われました。7月には静岡県下でもクラスターの発生がいくつかあり、浜松市内でも身近に新型コロナウイルス感染症の脅威を感じました。少しずつ流行の状況は落ち着きつつありますが、対策を緩める状況にはまだありません。

## これまでの取り組み

浜松医科大学医学部附属病院では、新型コロナウイルス感染症を「持ち込まない」「持ち込ませない」「拡げない」をスローガンに早期から以下のような取り組みをはじめています。

1) 臨時感染対策講習会の開催や医学部学生が作

成した多数の注意喚起ポスターの掲示（教育・啓発活動）

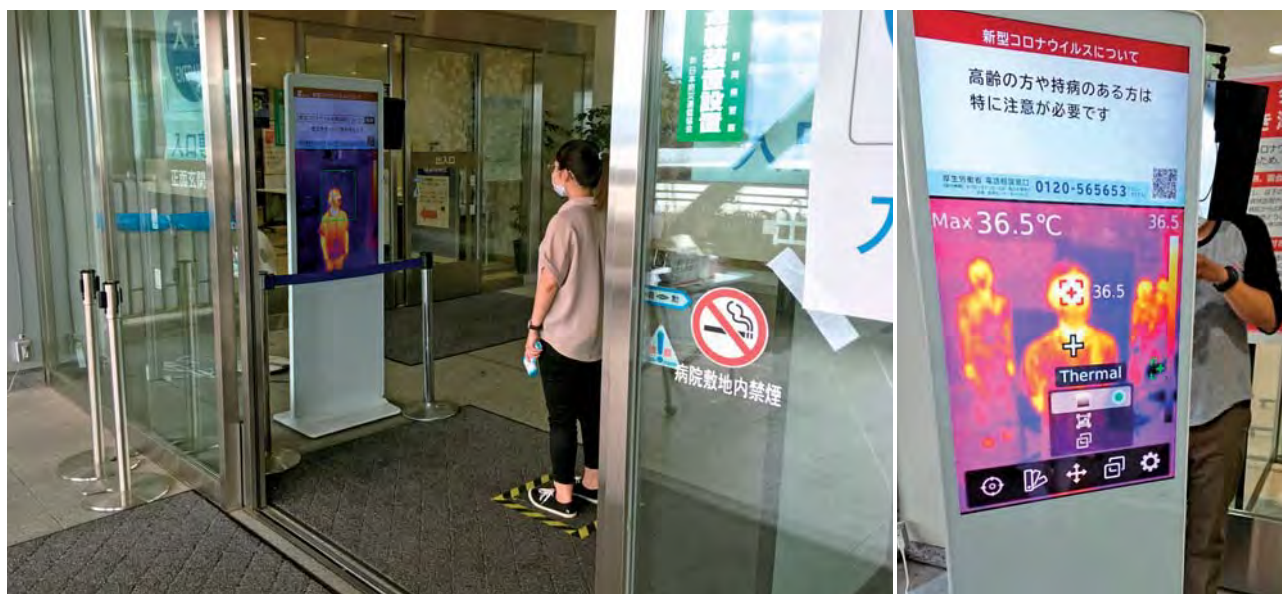
2) 感染患者対応の訓練（写真①）やマニュアルの整備（実践力の強化）

3) 正面玄関での検温（写真②）、面会制限、外来受診時や入院時の問診（水際対策）

これらの対策を段階的に拡大し、半年前と比べると



写真① 患者さん受け入れ訓練の様子



写真② 正面玄関での体温測定（サーモグラフィ）





写真③ 学生とともにガウン作成

と院内はかなり様変わりしています。病院職員に対しても行動規範を定め、遵守させています。体温測定や体調管理は、病院を出入りする派遣・委託業者にも徹底を求め、日々記録の提出をお願いしています。感染対策はここまでやったら完璧、大丈夫というものではありませんので、現在も進行形で継続し、随時更新しています。

### 滞りのない診療継続のために

当院では新型コロナウイルス感染症対策の体制をとりながら、外来診療や入院治療といった必要

な医療提供体制は通常レベルを維持できるように努めています。しかし、マスクや手指消毒用アルコール、個人防護具などの医療資材不足が社会問題化した際には、当院でも少なからず影響がありました。そのため、医療資材の不足による影響を最小限に抑えるために、代替品の確保や在庫管理、物品の適正使用のため使用制限を行っています。さらに医学部学生とガウンの代替品を製作したり（写真③）、地元企業の協力により手術衣の開発を行いました（写真④）。テレビ、新聞等で取り上げられましたのでご存じの方もおられると思います。日常診療や患者さんのケアの場面で、物資不足による中断は、あってはならないと使命感をもって取り組んでいます。

### これからの取り組み

これからの課題としては、第三波が来る前に更に備えを充実させることが必要です。「新型コロナウイルス感染症」に対する検査である抗原検査・抗体検査・PCR検査の中で、特にPCR検査体



写真④ 地元企業の協力で作成した手術衣と市長表敬訪問

4ページへ続く

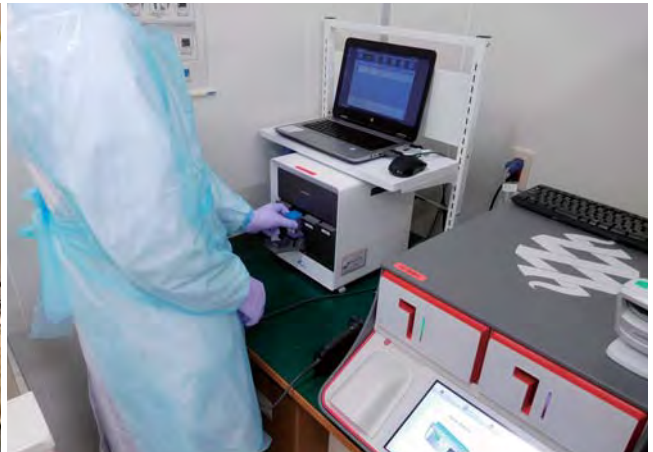
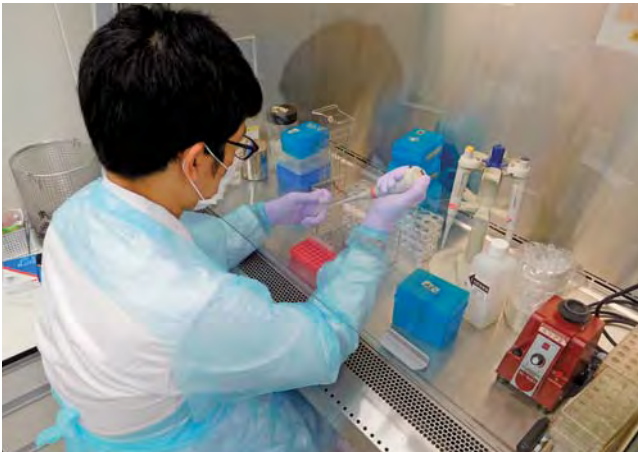
写真⑤



半田山会館



PCR検査用唾液採取の様子



PCR検査処理と検査機器

### 3ページからの続き

制の拡大は急務です。7月からPCR検査を実施する患者さんの対象を少しずつ拡大し、PCR検査用検体（唾液）の採取を病院敷地内の半田山会館（写真⑤）で行っています。現在は、手術予定の患者さんや入院が必要な内視鏡検査を受けられる患者さんを対象に、入院前にPCR検査を実施しています。今後は当院に入院される全ての患者さんに対してPCR検査を実施させていただく予定です。PCR検査を行うことにより、すべての患者さんに安心・安全な医療の提供ができるものと考えています。

### すべては安心・安全な医療の提供のために

未知の感染症だった「新型コロナウイルス感染症」も、必要な対策が少しずつ明らかとなってきています。治療法が確立されていない現状では、感染対策の精度を上げていくしかありません。感染対策に終わりはなく、疾患に対して正しく怖がり、適切で効果的な対策を常に更新しています。浜松医科大学医学部附属病院に来ていただくすべての患者さんやそのご家族の皆さんにとって、安心して外来診療、入院治療ができる環境を提供するために、新型コロナウイルス感染症対策の継続とさらなる充実を図っていきます。



# 医師の時間外労働規制についてー 「評価機能」という言葉を知っていますか？



医療福祉支援センター長 小林 利彦

2018年6月29日に成立した「働き方改革関連法」に絡んで、2024年4月以降の医師の時間外労働規制が注目されています。「医師は労働者ではない」と教え込まれた？われわれの時代は過去のものとなり、労働時間の適正な定義と把握・管理がこれからは求められてきます。大学病院においては、他の一般的な医療機関とは異なり、労働と教育（自己研鑽）の境界が不明瞭であることや、宿日直許可基準やオンコールの取扱いが必ずしも明確でないこと、兼業や副業（いわゆるアルバイト）を労働時間として正確に合算していないことなどが問題視されています。また、大学という教

育機関に所属する医師として、「裁量労働制」の適用がやや過大解釈されている事実もあります。そもそも、自身の労働時間が客観的に計測されておらず、自己申告制となっている現況がいつまでも許容されるとは思えません。

医師の2024年4月以降の時間外労働規制に関しては、年間960時間以内を原則としながらも、地域にて比較的少ない医師数のもと救急医療などを担っている病院（B水準）や若手医師の教育に時間を費やしがちな臨床研修病院（C1水準）、専門

6ページへ続く

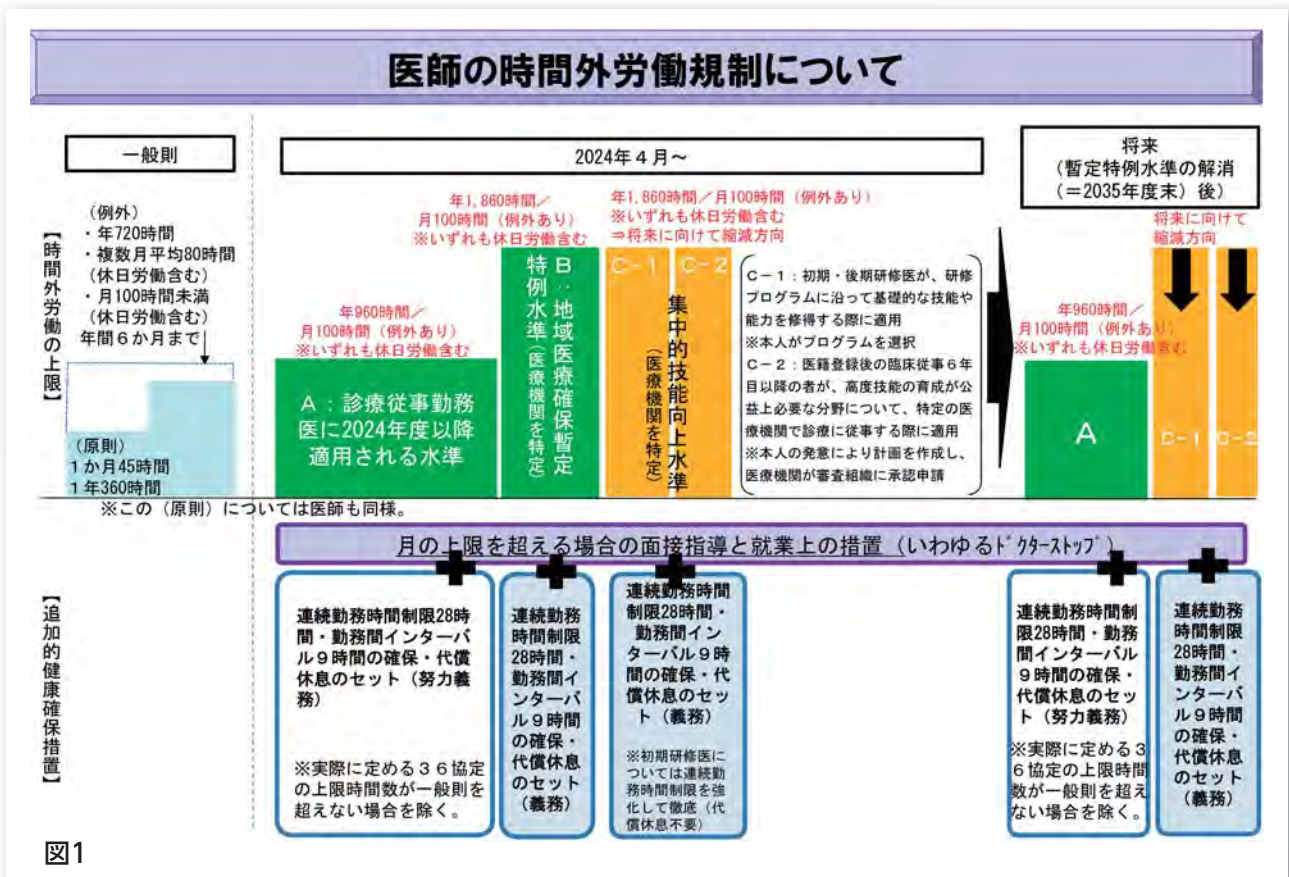


図1

研修のために就業時間が長くなりやすい施設（C2水準）において、当面は年間960時間以上・1860時間以内の時間外労働を認めることでとりあえずの合意がなされています（**図1：厚生労働省の資料から**）。

その背景には、現状においても、年間960時間以上の時間外労働をしている医師が全体の40%を占め、1900-2000時間以上の時間外労働を行っている医師が10%程度（約2万人）いるという事実があります。そのため、国も同法律を、医師以外は2019年4月からの適用としたものの、医師については5年間の執行猶予？を与えたとされています。しかしながら、時が経つのは早く、新型コロナウイルス感染症の蔓延で臨床現場はドタバタしてはいますが、同法律の施行時期の延長が今後なされることはないと考えます。

医療関係者の多くは、2024年4月からの時間外労働を原則年間960時間以内、一部は1860時間以内に納めれば良いと思っているかもしれませんが、それは大きな誤りです。先に述べたB・C水準には実際の運用面で「追加的健康確保措置」が義務づけられるだけでなく、そもそもB・C水準で労務管理するための認証と都道府県（医療審議会）での承認を得なければなりません。実際、B・C水準となることが予想される医療機関では、36協定の締結以前に、医師の労働時間短縮に向けた取り組みを積極的に実施して、時間外労働が年間960時間を超える診療科や医師については書類申請のもと一定の評価を受け、医療審議会での承認を得ないと36協定自体が出せない仕組みになっています。

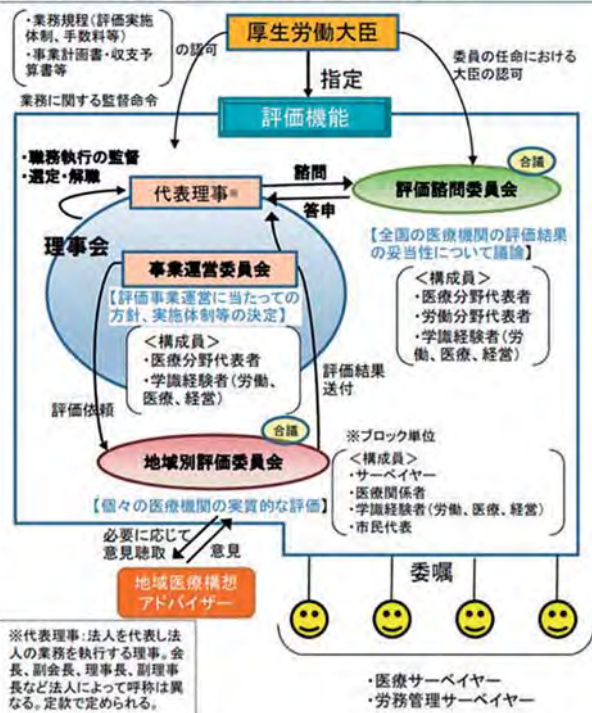
それらの申請書類の中で最も重要なものは「医師労働時間短縮計画」ですが、2020年8月28日にその策定ガイドラインが公表されたことを医療関係者は案外知りません。同計画書には労働時間数や労働管理・健康管理などの必須記載項目のほか、タスクシフト/シェアの実績・計画目標等の任意記載項目が含まれていますが、それらの記載事項を基に各施設の労務管理状況を客観的に評価する仕組み（組織）作りが現在進んでいます。具体的には、医師・看護師等と社会保険労務士によって第三者評価（サーベイ）を行う「評価機能」という組織が設置されることとなります。評価機能の位置づけは**図2（厚生労働省の資料）**を参考にいただければと思いますが、実は、この評価（訪問評価）が行われるのが2023年度からというところがポイントです。さらに言うと、訪問評価の前の書面評価は2022年度から行われるという驚くべき事実があります。すなわち、来年度（2021年度）うちには書面評価用の書類作成準備が求められるということです。

臨床現場で働いている医療従事者の多くは労務法規に必ずしも詳しくないと思われるかもしれませんが、いわゆる法定労働時間を超える残業については「36協定」を使用者と労働者代表とで締結しなければなりません。その際、36協定の有効期間は基本的に1年間とされていますので、今回の法改正に絡んで2024年4月以前の事務作業等の取扱いが問題となります。そういった意味でも、労務管理に携わる事務職員は、2020年8月28日に厚生労働省から出された「医療機関の医師の労働時間短縮の取り組みの評価に関するガイドライン」を必ず読んでお



## 中立性・客観性を担保するための評価機能の組織の建付けについて(案)

□ 評価機能が評価を行うに当たって、中立性・客観性が求められるため、以下のように、法人内に委員会を設置するほか、厚生労働大臣による一定程度の関与を行うことにより担保することはどうか。



- ① 評価機能として指定した法人の理事会内に、**事業運営委員会**を設置し、評価機能としての業務の執行に係る決定を行うほか、理事会として代表理事の職務執行の監督を行う。
- ② 外部委員で構成する**評価諮問委員会**を設置し、ブロック別の**地域別評価委員会**で付した評価結果に関して、代表理事からの諮問に対する答申を行う。
- ③ 評価諮問委員会の委員の代表理事による任命に当たっては、大臣の認可を行うこととし、より評価の客観性の確保を図ることも考えられる。
- ④ 指定法人として、**業務規程や事業計画書、収支予算書**等について大臣認可とすることとともに、業務の適正な実施のために必要な範囲内で法人に対する大臣の監督命令を行う。

図2

かなければなりません。現実的には、来年度に法改正がなされてからのこととなりそうですが、2024年4月までの間に時間外労働が年間960時間を超える医師を抱える医療機関は、36協定の締結とともに先に述べた「医師労働時間短縮計画」を提出しなければなりません。

これらの問題に詳しい事務職員が少ない医療機関では、おそらく当面は混乱することが予想されます。その一方で、厚生労働省が設置した「評価機能」をどの団体が担うのか未だ定まっていない現実もあります。各種紙面からは日本医師会に参与して欲しいとの意見もあるようですが、そもそも、この種の労務管理に精通している医師は産業医くらいだと思います。そのような状況下、評価機能にて実務を实际担う職種は看護師と社会保

険労務士だと思われませんが、医療機関においても社会保険労務士との関係構築がこれまで以上に重要になるものと考えます。各都道府県には、この種の作業を支援する「医療勤務環境改善支援センター」が設置され、社会保険労務士と医業経営コンサルタントを一定数抱えてはいますが、その存在は医療機関に十分周知されていないのが現実です。人口減少が当面は進む本邦において、就業者への働き方改革は求人を行う上でも重要な要件となりますが、医療の世界においてもそれが例外ではない時代が近づいています。医療機関にて収益を上げるには医師の確保が何よりも求められるのでしょうか、医師の労務管理に精通した社会保険労務士などの事務職員等の確保も極めて重要なものと思われま

# 肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップのために ～肝疾患連携拠点病院としてできること～

肝臓内科診療科長  
肝疾患連携相談室長 川田 一仁



このたび、「肝炎ウイルス検査陽性者用 診療情報提供書」を作成しましたのでご紹介させていただきます。

この診療情報提供書は、医療機関での紹介状作成の負担を軽減し、お気軽に紹介していただくことを目的としております。

検査結果の欄へチェックするなど、必要最低限の検査項目、記入内容で紹介いただくことが可能となっております。

## 【肝炎ウイルス検査陽性者用 診療情報提供書】

肝炎ウイルス検査陽性者用 診療情報提供書

紹介する医療機関の所在地および名称

記入日	年	月	日
医療機関名			
所在地			
電話			
FAX番号			
医師氏名			

浜松医科大学医学部附属病院  
肝臓内科 担当医 行

FAX:053-435-2849  
(地域連携室直通)

フリガナ	性別
患者氏名	男・女
[印字が印刷されたらご記入ください]	
生年月日	年 月 日生
住所	
電話番号	
検査結果: 陽性の検査にチェックをお願いします。	
<input type="checkbox"/> HBs 抗原 <input type="checkbox"/> HCV 抗体	
病名	
既往歴、家族歴	
治療経過/投薬内容	
<備考>	

## ～なぜ、今、肝炎ウイルス

### 検査陽性者用の診療情報提供書?～

ウイルス性のB型肝炎・C型肝炎の治療薬は日々進歩しており、治療の適応が広がっております。しかし実際には「肝炎ウイルス検査は受けただけ、陽性であったのか陰性であったのか覚えていない」、「肝炎ウイルス陽性だけど症状がないので病院にかかっていない」、「病院、医院に行く必要がないと思っている」など、適切な治療を受けていない方がいます。

また、2016年静岡県において肝炎ウイルス検査陽性者の受診率を調べたところ、16.8%という受診率の低さも問題となっております。

肝炎は落ち着いているように見えても肝臓がんが急に出現する可能性があり、定期的な画像検査が必要な場合があります。

HBs抗原陽性ないしHCV抗体が陽性の患者さんがいらっしゃいましたら、一度は専門医

検査結果: 陽性の検査にチェックをお願いします。
<input checked="" type="checkbox"/> HBs 抗原 <input type="checkbox"/> HCV 抗体
備考
既往歴、家族歴



へのご紹介をお勧めいたします。

### ～最後に～

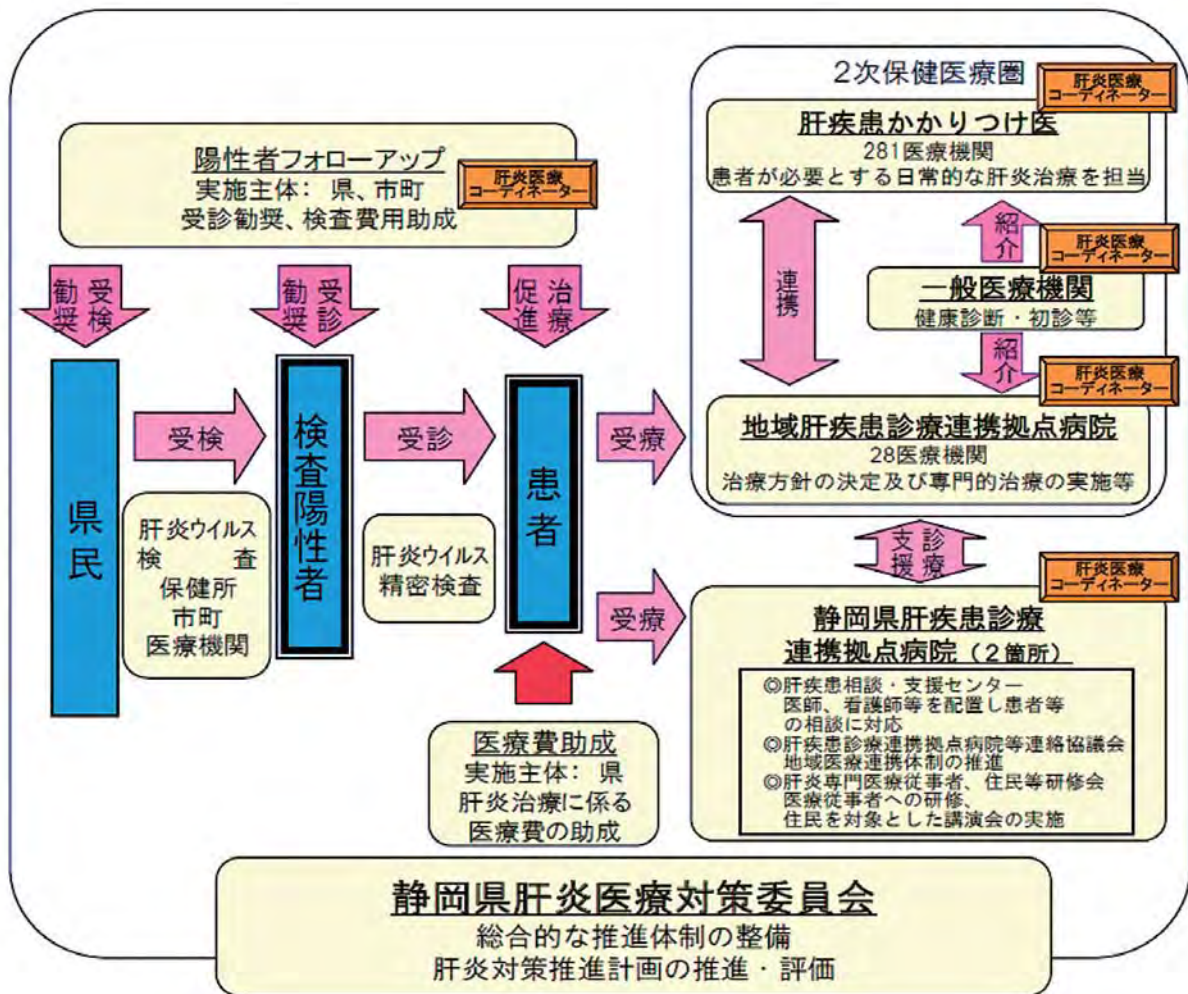
当院は、静岡県肝疾患診療拠点病院として、肝疾患の治療水準の向上に向け、連携体制の構築を推進するとともに、県民に対する情報提供や相談支援を行っております。

静岡県は、「受検・受診・受療・陽性者フォローアップ」が繋がる肝炎ウイルス検査事業、肝炎ウイルス検査陽性者に対する検査費用助成、肝炎治療に対する医療費助成など制度が充実しています。

また、静岡県内には肝炎の専門医療機関として静岡県肝疾患連携拠点病院（2か所）、地域肝疾患連携拠点病院（26か所）が指定されています。その他、専門医療機関と連携して肝疾患の診療を行う「肝疾患かかりつけ医」があり、ウイルス性肝炎から肝硬変や肝がんといった深刻な症状への進行を防ぐために、拠点病院と肝疾患かかりつけ医が連携して診療を行っています。

B型、C型肝炎ウイルス検査で陽性となった患者さんは肝疾患の専門医、専門医療機関に受診していただくことをお勧めします。

### 【静岡県の肝炎対策推進体制】



参照: 第3期静岡県肝炎対策推進計画 2018年度～2023年度

# 腫瘍センター だより

## 治療とお仕事の両立について

医療福祉支援センター  
がん相談支援センター 社会福祉士 鈴木 友彰



当院の「がん相談支援センター」では、がん患者さんの治療と就労の両立支援や就労支援に積極的に取り組んでいます。具体的には、病気になっても仕事を続けていくための就労継続支援と、新しい仕事を見つけるための新規就労支援を行っています。

就労継続支援では、静岡県産業保健総合支援センターの両立支援員と共同して、当院のがん化学療法看護認定看護師も参加する「就労相談会」を定期的に開催しています。がん患者さんの中には、働きたいと思っているけれど働ける環境が整っていないために就労継続することが難しい方が少なからずいらっしゃいます。そういった場合にも企業に対してさまざまな働きかけを行い、時にはお休みの取り方などをアドバイスすることがあります。

また、新規就労支援に関しては、浜松ハローワークの就労支援ナビゲーターに定期的に来院してもらい、「ハローワーク出張就労相談会」を開催しています。同相談会では、やむを得ず退職してしまったものの求職している患者さんに対して、ハローワークと協働し治療状況を確認しつつ就労先を紹介するなどしています。

そのほか、浜松市と共催のもと企業向けの講演会を企画して、医師から最近のがん治療の現状を伝えてもらったり、長期療養患者を雇用している会社から事例報告をしてもらったりしています。ちなみに、浜松市には当院

を含め4つの「がん診療連携拠点病院」（聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜松医療センター、浜松医科大学医学部附属病院）がありますが、がん患者さんに対する両立支援・就労支援に関しては、各施設のがん相談実務者が定期的にミーティングを行って情報共有ならびに意見交換を行っています。

そもそも、がん患者さんに治療と就労の両立支援が必要とされる背景には、がん患者さんのう

### 相談無料

# 就労相談会

## 治療と仕事の両立支援

**日程：**2020年 12月4日(金)  
2021年 3月5日(金)

**時間：**13:00～16:00  
(1人1時間程度)

**場所：**浜松医科大学附属病院  
外来棟1階  
医療福祉支援センター

**連絡先：**053-435-2772

**共催：**静岡県産業保健総合センター 浜松医科大学医学部附属病院

- ・治療と仕事が両立できるか心配。
- ・がんと宣告されたけど、仕事を辞めないといけなのかな。
- ・仕事を休んでばかりだと、職場の人の反応が気になる。

**両立支援促進員が相談にのります**

- \*就職先の紹介はできません。
- \*予約制です。(先着3名)
- 前日の12時までに、左記の番号へご連絡ください。



## 長期療養者さんのための ハローワーク浜松 出張就労相談会



ハローワーク浜松の就労支援ナビゲーターが、病院で職場の紹介をしています。治療を考慮しながら、ご本人、病院、ハローワークと共同でお仕事を探しませんか。随時受付中。お気軽にご連絡ください。

問い合わせ 浜松医科大学医学部付属病院  
医療福祉支援センター  
053-435-2772  
(平日9:00~16:00)

ち、勤務者では34%が依願退職や解雇に、自営業者では13%が廃業しているという実態があります。また、収入面では、がん診断の前後に平均年収が約395万円から約167万円に減額していることなども過去の調査結果から分かっています（静岡がんセンター山口健先生からの報告）。

そのような状況があるため、国は平成24年に「がん対策推進基本計画」を策定し、全体目標である「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」とともに、個別目標として「がん患者の就労を含めた社会的な問題へのアプローチ」を提言しました。具体的な施策としては、がん患者さんの就労に関するニーズや課題等を明らかにしつつ、治療と就業生活の両立を図るための支援策につい

て検討するほか、患者さんが働きながら治療が受けられるような配慮や、働きながら治療や療養が可能な環境の整備、家族ががんになった場合でも働き続けられるよう仕組み作りが期待されています。当然、それらを実践するためには、患者さん個人や病院だけでなく、企業や行政などとも協力していかなければなりません。実際、仕事が生きがいといった方にとっては、働くことで社会とつながり治療への意欲も出てくるということもあります。

その一方で、がんの治療には多額のお金がかかります。がんの部位にもよりますが、5年以上にわたって治療を必要とする患者さんが10%弱いるという話です。治療が長期化すれば、医療費のほかに通院のための交通費や入院時の食事療養費などの負担も高まります。さらに、がん患者さんのうち就労可能世代とされる15歳~64歳の方は全体の32%というデータもあります。

そのような社会的背景もあり、国を挙げてがん患者さんへの両立支援・就労支援を推進する流れになっています。新型コロナウイルス感染症の影響で一般の方でも就労継続が厳しくなっている現況下、がん患者さんを社会的・精神的に支援していくことが、私たち「がん相談支援実務者」の使命と考えています。

皆さんの身近なところで、就労関連のことで悩まれているがん患者さんがいらっしゃいましたら、当院のがん相談支援センター（医療福祉支援センター内）にお気軽にご紹介・ご相談いただければ幸いです。

# 医療機器管理部のご紹介 ～臨床工学技士は、医療機器の専門家です～

医療機器管理部 主任臨床工学技士 水口 智明



私たちは臨床工学技士という国家資格で働いています。臨床工学技士法は1987年に成立し、多くの病院で臨床工学部門とMEセンター（医療機器中央管理室）が設置されました。

当院においても高度な医療機器が導入されたため、2003年6月に臨床工学室検討WGを立ち上げ、2004年9月に医療機器管理部の設立とMEセンターが開設され、峯田周幸教授を部長に迎えて5名の兼任スタッフで業務が開始されました。

オープン当初は、人工心肺装置・血液浄化装置等の操作および保守管理や人工呼吸器・輸注ポンプ類の保守・点検に業務を限定しての対応でしたが現在は中島芳樹教授のもと、業務拡張を行い24名で以下の業務を担当しています。

## ① 心血管カテーテル業務

PCI（経皮的冠動脈インターベンション）時の

IVUS（血管内超音波検査）操作やアブレーション治療時のモニタリング機器や記録装置の操作

## ② ペースメーカ業務

ペースメーカの植込み時の対応やその後の管理および設定変更

## ③ 手術室業務

毎朝麻酔器の始業前点検を行い、眼科の手術機器のセッティング、整形外科や脳神経外科の手術中の神経モニタリング、ロボット支援手術機器（ダビンチ）のセッティング等

## ④ 呼吸治療業務

普段は稼働中の人工呼吸器が安全に使用されているか異常がないか等の確認を行っているが、1回/週でRST（呼吸ケアサポートチーム）に参加して院内ラウンド



ダビンチ業務中





脳神経外科手術の神経モニタリング中



集中治療部にて補助循環装置のチェック中

### ⑤ 集中治療業務

人工呼吸器、持続的血液浄化装置やECMO（体外式膜型人工肺装置）などの生命維持管理装置の操作や管理

### ⑥ 人工心肺業務

心臓手術を行う際、心臓や肺に代わる働きをする装置の操作や管理

### ⑦ 血液浄化業務

人工透析装置の保守管理や操作を中心に血漿交換療法や血液吸着療法、CART（腹水濾過濃縮再静注法）等の操作や管理

### ⑧ 医療機器管理業務

約3,200台の医療機器を一括で中央管理し、効率よく適切な使用が出来るように保守・管理

また2016年度診療報酬改定における特定集中治療室管理料1の施設基準に「専任の臨床工学技士が、常時、院内に勤務していること」と明記されたことにより、当直体制も始めています。

令和3年度には医療機能強化棟が増築され、更に業務が拡大する予定です。働き方改革で提唱されているタスクシフトも推進し、医療機器の専門的な立場での存在感を高めるとともに、治療の効率化と安全の向上に努めていきたいと考えています。

最後に、大学病院という環境を生かし、各種認定の取得や大学院への進学等による個々のスキルアップを図るとともに、学会発表や教育にも積極的に参加していきたいと思っております。



血液浄化療法部にて血漿交換治療中



## お知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と患者さんへの感染予防のため、現在下記の対応をしておりますのでご協力くださいますようお願いいたします。



### 1.来院される方へのお願い

来院される方は、可能な限りマスクの着用と、来院前に体温を測ってご自身の体調の確認をお願いします。発熱症状や風邪の症状がある場合や体調に不安がある場合は、ご来院をお控えいただくか、かかりつけの診療科へお電話等でご相談ください。また、付き添いは原則1名とさせていただきます。やむを得ず複数名になる場合は総合受付にご相談ください。

### 2.入院患者さんの外出及び外泊の禁止

当院に入院されている患者さんの外出及び外泊を原則禁止とさせていただきます。どうしてもやむを得ない事情により外出及び外泊を希望される場合は主治医とご相談ください。

### 3.面会の禁止

入院患者さんへの面会を原則禁止します。ただし、病状説明や手術当日、病院からの呼び出しを受けた時、入院生活に必要な物品を届ける時、その他どうしても付き添いが必要と判断される場合などは、必要最低限人数かつ面会者の体調確認の上、面会を許可します。

なにとぞご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。

## 駐車場整理料の変更について(お知らせ)

日頃から駐車場の管理運営にご協力をいただきありがとうございます。

この度、駐車場整理料を下記の通り変更することとなりましたので、お知らせいたします。ご理解のほど、よろしく申し上げます。

### ● 駐車場整理料が変更になります。

**令和2年8月1日(土)から**

外来患者の方・付添いの方の駐車場整理料を、以下に変更いたします。

#### 【現行料金】

外来患者の方 付添いの方	最初の 30分まで 無料	1回 / 100円 (駐車後24時間)
お見舞いの方 一般利用の方		60分 / 200円 最大料金 駐車後24時間 600円

#### 【新料金】

外来患者の方 付添いの方	最初の 30分まで 無料	1回 / 200円 (駐車後24時間)
お見舞いの方 一般利用の方		60分 / 200円 最大料金 駐車後24時間 600円

※外来患者の方・付添いの方は、駐車場整理料の減額処理が必要となります。

**駐車券を必ず院内にお持ちください。**

<駐車場運営管理・本件に関する問合せ先> タイムズコンタクトセンターTEL 0120-77-8924 (24時間/年中無休)



# 外来診療日一覧

2020.10.1現在

受付時間 午前 8時30分～11時 一般外来・専門外来  
午後 0時30分～2時 専門外来

○：午前  
◆：予約のみ

休診日 土曜日および日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

診療科名	診療日										備考		
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		木	金
<b>内科</b> 受付電話 435-2632													
一般内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
消化器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
腎臓内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午後のみ
脳神経内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	水曜日：午前のみ
内分泌・代謝内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
呼吸器内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
肝臓内科	◆	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
循環器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	火曜日：午後のみ
血液内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午前のみ
免疫・リウマチ内科	◆		◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
臨床薬理内科	◆			◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆	要問い合わせ
感染症専門外来			◆							◆			午後のみ
禁煙外来	◆						◆						
ペースメーカー外来													予約のみ 要問い合わせ
ピロリ菌外来	◆												午後のみ
<b>精神科神経科</b> 受付電話 435-2635													
初診・再診		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆			
児童思春期外来								◆					
成人発達障害外来			◆							◆			
摂食障害専門外来										◆			
デイケア								◆		◆	◆	◆	※2020.4.28～休診
<b>小児科</b> 受付電話 435-2638													
初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
内分泌・遺伝		◆						◆					
内分泌		◆						◆					
心臓											◆	◆	
血液					※	※					◆	◆	※初診は随時電話で
免疫・アレルギー	◆			◆	◆	◆	◆				◆	◆	
神経	◆	◆			◆	◆	◆	◆			◆	◆	
腎臓	◆			◆	◆	◆	◆				◆	◆	
新生児フォローアップ							◆	◆				◆	
乳児検診	◆						◆						
CCS外来											◆		第4週のみ
<b>小児外科</b> 受付電話 435-2638													
初診・再診		◆		◆		◆	◆			◆			
<b>外科</b> 受付電話 435-2641・2642													
心臓血管外科	○		○		◆	○		○				◆	
血管外科		◆		◆			◆						木曜日：午前のみ(下肢静脈瘤)
呼吸器外科			◆					◆				◆	
乳腺外科	◆	◆	◆		◆	◆	◆					◆	水曜日：家族性乳腺腫瘍外来(午後)
上部消化管外科		◆	◆					◆		◆			
下部消化管外科	◆					◆					◆		木曜日：午前のみ
肝・胆・膵外科				◆	◆	◆					◆	◆	
一般外科	○		○		○	○	○		○			○	
肥満減量外来					◆	◆						◆	
緩和ケア外来			◆		◆	◆		◆				◆	
<b>脳神経外科</b> 受付電話 435-2644													
初診・再診	◆	◆		◆	◆		◆			◆	◆	◆	
<b>整形外科</b> 受付電話 435-2647													
初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆	◆	
教授外来(脊椎)	◆			◆	◆	◆					◆		
骨粗鬆症				◆	◆	◆					◆		
リウマチ			◆	◆					◆	◆			
手・末梢神経			◆						◆				
脊椎	◆					◆							
腫瘍			◆							◆			
股関節					◆							◆	
肩関節					◆							◆	
膝関節・スポーツ					◆							◆	
小児整形	◆						◆						
ヘルニア								◆					

診療科名	診療日										備考	
	初診		診			再		診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
皮膚科 受付電話 435-2650												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	アトピー外来			◆					◆		◆	
	脱毛症外来	◆		◆			◆		◆			
	乾癬外来		◆					◆				
	皮膚リンフォーマ外来				◆					◆		
泌尿器科 受付電話 435-2653												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆		
	腎移植外来				◆					◆		医師交代制
	排尿障害外来		◆					◆				
	不妊症外来		◆					◆			◆	第1、3、4、5週のみ
	腫瘍外来		◆	◆	◆			◆	◆	◆		
眼科 受付電話 435-2656												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	火・金曜日：午前のみ
	網膜変性外来		◆					◆				
	斜視・弱視外来								◆			
	ロービジョン										◆	
	角膜外来									◆		第2週のみ（月により変更あり）
耳鼻咽喉科 受付電話 435-2659												
専門外来	初診・再診	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	
	腫瘍外来	◆			◆		◆					
	耳外来				◆					◆		
	めまい外来			◆								
	耳鳴外来		◆					◆				
	難聴外来・人工内耳外来		◆					◆				
	睡眠時無呼吸・いびき外来					◆					◆	
	顔面神経外来		◆		◆			◆		◆		
	鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科 受付電話 435-2662 ※女性医師ご希望の方はお申し出ください。												
専門外来	産科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	婦人科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	婦人科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	産科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	腹腔鏡外来				◆					◆		
	漢方外来				◆					◆		第1、2、4週のみ
A R T 室 受付電話 435-2664												
	不妊外来						◆	◆		◆	◆	
放射線科 受付電話 435-2665												
	放射線治療科 放射線治療外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	放射線診断科 IVR外来		◆					◆				
麻酔科蘇生科 受付電話 435-2668												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
リハビリテーション科 受付電話 435-2747												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要問い合わせ 午前のみ
	義肢・装具外来			◆					◆			} 午後のみ
	嚥下外来	◆		◆			◆		◆			
	痙縮外来		◆		◆			◆		◆		
	高次脳外来	◆			◆		◆			◆		
形成外科 受付電話 435-2496												
	初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○		
歯科口腔外科 受付電話 435-2673												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	唇顎口蓋裂外来			◆					◆			} 専門外来の診察日は不定期のため、歯科口腔外科外来受付電話にお問い合わせください
	顎補綴			◆					◆			
	矯正歯科					◆					◆	

※市外からお電話の場合は、電話番号の前に市外局番（053）を付けてください。



# 令和元年度 患者アンケート結果

平素より当院をご利用いただき、誠にありがとうございます。ご協力いただきましたアンケートにつきましては、今後のより良い病院運営の参考にさせていただき、サービス向上・充実に努めてまいります。

## 外来患者さん

【アンケート期間】  
令和2年2月25日(火)～2月27日(木)  
【回答数・回収率等】  
配布数/400部 回収/381部 回収率/95%

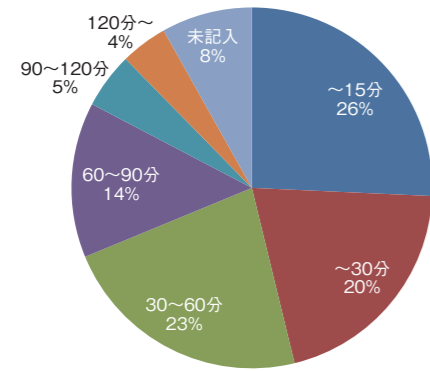
## 令和元年度意見について

待ち時間(診療・会計)が長いので、短くしてほしい、スタッフの対応が悪い、トイレが狭い・少ないので個数を増やしてほしい、駐車場に関する事などのご意見を多くいただきました。

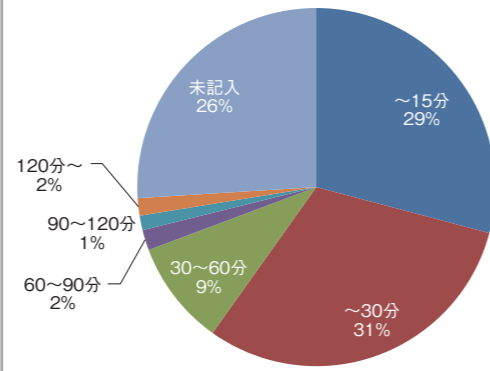
## 入院患者さん

【アンケート期間】  
令和2年2月25日(火)～2月26日(水)  
【回答数・回収率等】  
配布数/400部 回収/267部 回収率/67%

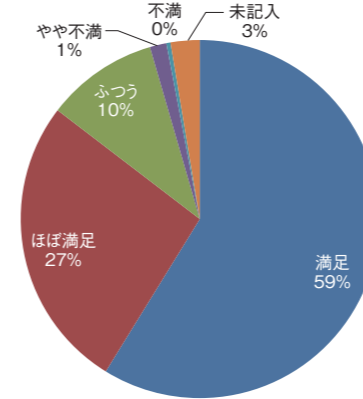
予約時間から診察開始までの時間



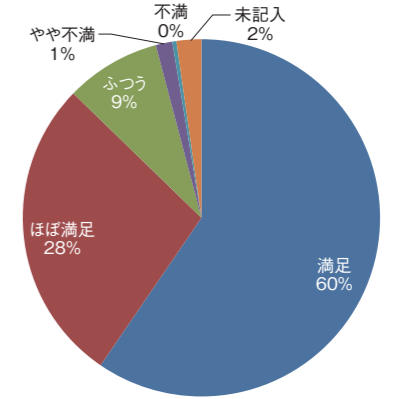
⑤番窓口で計算伝票を出し、会計番号のサインが出るまでの時間



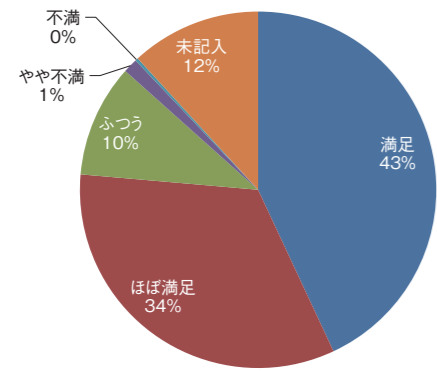
入院中の病状、治療、検査結果の説明はわかりやすいですか



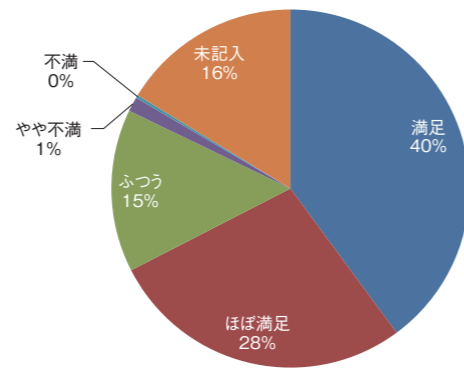
入院中の病状や治療について質問しやすいですか



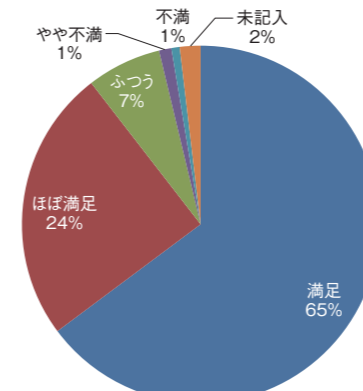
医師からの症状、治療、検査結果の説明はわかりやすいですか



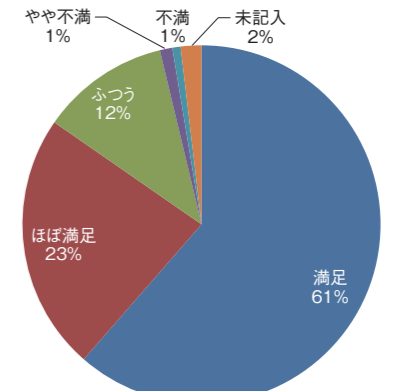
総合的にみた看護師への満足度



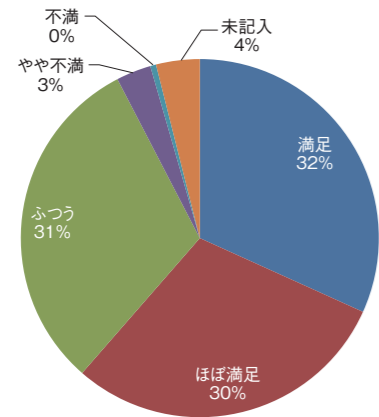
看護師は親切・ていねいに対応してくれましたか



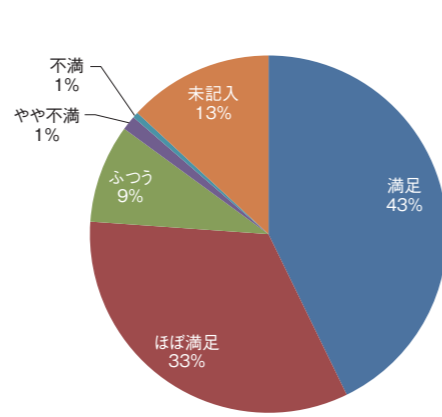
看護師へ声はかけやすいですか



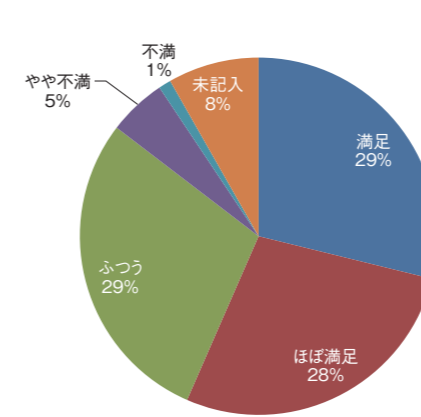
プライバシーの確保は保たれていますか



あなたは、「この病院に来て良かった。」と思いますか



プライバシーの確保は保たれていますか



あなたは、「この病院に来て良かった。」と思いますか

